

2019年6月13日

『働き方・休み方改革、ダイバーシティ推進』に関する JATA 会長表彰にて 「ダイバーシティ推進部門」大賞受賞

株式会社 JTB（東京都品川区、代表取締役社長：高橋広行、以下 JTB）は、一般社団法人 日本旅行業協会（JATA）主催による「働き方・休み方改革、ダイバーシティ推進」に関する JATA 会長表彰にて「ダイバーシティ推進部門」大賞を受賞しました。

JTB グループは、市場のグローバル化と多様化に対応すべく、さまざまな価値観や働き方を取り入れ、企業価値を高める「経営戦略」として、ダイバーシティに取り組んでいます。そして、社員一人ひとりが最大限の能力を発揮できるように、日々働きやすい環境整備に向けて工夫をおこなっております。

現在、JTB グループでは、多くの聴覚障がいのある社員が活躍しており、日常のコミュニケーション手法として、2016年から UD トークの法人向けプランを導入しています。JTB の全箇所・部門で使用できる体制を整備し、お客様、関係機関、共に働く社員との円滑なコミュニケーションをはかっています。

この度の大賞は、積極的に UD トークを活用した JTB 法人事業本部企画開発プロデュースセンターが受賞しました。

*UD トークとは：スマートフォン・タブレット端末を用いて、会話・声をリアルタイムに文字化し、読み取ることができるアプリです。聴覚障がい者との、より密で、円滑なコミュニケーションに役立ちます。また QR コードをカメラで読み取り、端末を介した会話・筆談でのやり取りや、多言語翻訳機能で英語等への翻訳、音声読み上げも可能です。

《音声認識ソフトによる主な活用事例及び効果》

◇活用事例

- ①朝礼や会議、研修等における音声の見える化や、不在者への議事録共有
- ②聴覚障がいのある社員の法人営業セールス時における打ち合わせでの活用
- ③『誰でもいつでも』をコンセプトに、独自マニュアルを作成しグループ各社へ展開
※聴覚障がいのある社員が自らの活用体験をもとに作成



◇効果

- ①聴覚障がいのある社員とその周囲で働く社員との相互理解
- ②聴覚障がいのある社員のモチベーション向上
- ③研修における学習効果の向上と参加の拡大

場所・利用者を問わず音声の可視化を行うことで、取引先にも評価されると同時に、聴覚障がいのある社員の積極的な発言が可能となり、モチベーション向上へとつながっています。

JTB グループは、社員の多様な能力を最大限に発揮させ、真にイノベーティブな会社へと進化させるため、引き続き全社員一体となってダイバーシティを推進して参ります。

< 報道関係の方からのお問い合わせ先 >
JTБ 広報室 03-5796-5833